

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391400195
事業所名	グループホーム オーネスト波の花

【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	町内会に加入し、回覧板や運営推進会議で情報を得ている。草取りや清掃、防災訓練や地域の盆踊り、小学校の運動会などに参加して交流を深めている。また、地域の秋祭りには子ども獅子舞が訪れる。施設の「波花祭」には地域にチケットを配布したり、地域交流室を開放するなどして近所の方と触れ合いながら交流を深めている。中学生の職場体験やボランティアも受け入れている。認知症カフェを開催し認知症の理解や予防、また支援の方法などについて話し合っている。	○
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	入居者や家族、町内会長、学区の福祉推進副会長、いきいき支援センター職員の参加を得て年6回、併設の特養と合同で開催している。事業所の運営や活動状況などの報告を行い、参加者からは、地域行事などの情報を受け、意見や要望、提案などはその場で話し合ったり、記録して会議などで話し合いサービスの向上に活かしている。議事録は玄関にファイリングして誰でも閲覧できるようにしてある。	○
重点項目 ③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	いきいき支援センターの職員が年に1回運営推進会議に出席し情報を得ている。行政担当窓口には介護保険更新の手続きや申請の代行業務、生活保護の相談等で訪問した折に、情報交換をしたり入所事例などの報告や指導、助言を得るなど良好な協力関係を築いている。市主催の研修には積極的に参加している。地域住民向けに、コミュニティセンターでの講師の依頼も受けている。認知症カフェを開催し地域に情報の発信をしている。	○
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞いている。意見や要望などは、入居者ごとの申し送りノートに記録してミーティングで検討し情報を共有して運営に反映させている。家族からは面会時や年度初めの説明会、夏祭りなどの家族交流会の折に意見や要望を聞く機会を設け、ケアや業務改善に役立っている。玄関には、年1回のユーザー評価の結果ファイルと意見箱が置かれ意見が述べ易いように配慮している。	○
重点項目 ⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	